

京都西京極発

-光の芸術 Arte della Luce-

ア-テ・デラ・ルー・チエ

NPO法人加音西京極作業所 創作クラブ 第1回 作品展



村井基紀「若冲の羅漢さん」2018年紙/水彩

内容 ▶ NPO法人加音に通う知的障害や発達障害のある方の創作作品の展示(約40点)

日時 ▶ 2018年 11月2日(金) 3日(土) 10:00-17:00

場所 ▶ **ゼスト御池河原町広場**

イベントスペースで展示のため、どなたでもご覧いただけます。

トーンチャイムライブ
期間中毎時15分開演♪

主催 ▶ NPO法人加音

アーテ・デラ・ルーチェとは

加音西京極作業所に通う若者たちが、月一回の創作活動で制作した作品の数々。知的障害や発達障害のある彼らが、それぞれのユニークなフィルターを通して外界を写し取った作品や、個々人がその豊かな内面世界をそのまま表現した作品等。

これらの作品群からは、技術の巧拙を越えた、力強さ、繊細さ、リズム、躍動感といった不思議な魅力、生命のきらめき、とも言うべき美しさを感じます。

これらの作品群をなんと呼んだら良いのだろう。

近年、アールブリュット、エイブルアート等の名称で障害当事者の創作芸術は世界的に注目されています。

私たちは加音のなかまたちの作品から放たれる生命のきらめきの光」が実に印象的であり、「この子らを世の光に」とい

う先達の言葉にもインスパイアされ、彼らの作品をアーテ・デラ・ルーチェ(光の芸術)と呼ぶことにしました。

かけがえのない生命が放つスペクトルの美しさを多くの人たちと共有したく思い、第一回作品展を開催いたします。

私たちは障害の有無にかかわらず、「共に生きる」「共に楽しむ」多様性を基盤とした共生社会の実現をめざしています。



加音とトーンチャイム

加音の利用者の多くは、設立時よりASD(自閉スペクトラム障害)の方々です。ASDの方々は、ひとりひとりが個性的です。音も非常に個性的です。その音が無ければどうにもならないほど、一音一音ははっきりと個性があります。色々な「音」が加わって素敵なハーモニーを奏でる作業所になるように、と願いを込めて2009年に「加音(かのん)」と命名しました。

音楽クラブで長年やってきたトーンチャイム演奏は、メンバーそれぞれが自分の音(個性)を担当して、ハーモニーを奏でる、まさに「加音」です。

自閉症スペクトラムの方は他の人と合わせた集団行動が難しいとされていますが、加音のメンバーたちは色分楽譜を見ながら自分の音を叩くという楽しい体験を通して、集団で協力しながら演奏する事が出来るようになりました。毎年、地域の様々なイベントで披露しています。

当日は展示会場にて10時～16時までの毎時15分～生演奏を披露します。

●お問い合わせ先

TEL 075-313-5528

E-mail npo.kanon@nike.eonet.ne.jp

URL <http://npo-kanon.org>



会場アクセス

▶ ゼスト御池河原町広場

〒604-8091 京都府京都市中京区下本能寺前町4921-B1F

●電車でご来場される方

地下鉄東西線:「京都市役所前」駅下車、改札出て左すぐ

●バスでご来場される方

市バス:「京都市役所前」下車すぐ

